

今回まとめた一連のGitに関するマニュアル・調査資料は、既にSubversionの経験があるユーザーを対象に、下記の方針でまとめています。

- ・オープンなソーシャル開発を目的としたものではなく、閉鎖的な企業内開発でGitを利用する事を目的としています。
- ・クライアントはWindowsでGUI操作するものとし、利用者の敷居を下げて、多数のスタッフがGitを扱える状態にする事を目的としています。
- ・主にC++言語による開発を想定したものとする。
特にMicrosoft Visual Studio による開発プロジェクトを扱うものとする。
- ・ユーザー管理、サーバーのバックアップ、拠点間（遠隔地）での開発といった点についてを考慮し、特定の環境・運用ケースを想定したワークフローを提示するものとしています。
- ・サーバーの扱いについては、調査した時に得た情報をそのまま資料化しており、選択の幅がある事を示していますが、基本的にはその調査の結果から得た判断として、RhodeCodeという管理システムを利用したワークフローを提示するものとしています。

ファイル構成は下記の通り。

[Gitマニュアル・調査資料]

- [00]Readme.txt
- [01]Subversionユーザーの為のGit活用の勧め.pptx
- [02]TortoiseGitセットアップ手順.docx
- [03]TortoiseGitのhttp(s)通信およびパスワードの記憶と破棄について.docx
- [04]TortoiseGitのSSH通信およびパスフレーズの記憶と破棄について.docx
- [05]TortoiseGitによるSSH通信用秘密鍵・公開鍵生成手順.docx
- [06] (予定) TortoiseGitの使い方とワークフロー
- [07] (予定) RhodeCodeの使い方
- [08] (予定) 大規模開発のワークフロー
- [09] (予定) 小規模開発のワークフロー
- [10] (予定) 遠隔地開発のワークフロー
- [11] (予定) Subversionの中央リポジトリをGitで扱う
- [12] (予定) ミラーリポジトリでバックアップ
- [資料01]Gitサーバー比較.xlsx
- [資料02]Gitに関する推奨書籍.docx
- [Tools]
 - [git_erase_wincred_all] ... TortoiseGit が wincred で記憶する
ユーザー認証情報を一括削除する為の
ごく簡単なツール
- [PDF]

|- ... 上記のドキュメントをPDFファイル化したもの

以上